



お力添えのおかげ

ドッチボールやミニ運動会、手作りゲームのお店屋さん、しっぽとりや鬼ごっこ…。今年は授業参観や学級レクリエーションの際に親子そろって活動している場面がたくさん見られたように思います。保護者の皆様には大勢お越しいただき、楽しく、そして本気でご参加いただきありがとうございます。

「母さんたちも、やらなきゃだめだよー」と準備体操からお家の方を積極的に誘ったり、いざゲームが始まったら親に負けじと、渾身の力でボールを繰り出したりする子どもたちの強かさ。そんな子どもたちの誘いにうまくのっかってあげたり、軽々とボールをキャッチし容赦なく投げ返したり、グッシュでしっぽをもぎとったりと、大人げをいったん横に置いておき、子どもたちに大人の貫禄を見せつけてあげる頼もしさ。ほかにもたくさん、素敵なお力添えの姿を見せてもらいました。

そんな直接のお力添えがあれば、間接的にも様々なお力添えをいただきました。学期末にご協力いただきました学校評価もそのひとつです。中春小では、一学期、二学期末の年2回学校評価を実施しておりますが、評価の数値を項目ごと相対的に見たり、経年で比較したりなどしながら教育活動に活かしております。ご意見を記述してくださるご家庭もありとても参考になります。

学校評価の質問の中でも、「楽しい学校生活」とか「いじめへの取組」というような重要なことや「分かる授業となるように取り組んでいる」といった学校の役割そのものに関わることについては100%の肯定率でなければならないと考えています。また、本校で重点としている「伝える力の指導」や例年相対的に他の項目より評価が低い傾向にある「挨拶・礼儀」に関することには力を入れて取り組んでいるところです。残念ながら100%に届かないものや、1学期より評価を落としてしまったものもあります。厳しいご指摘を頂いたりするときは、学校に対して期待して頂いているからこそであり、よりよくするためのきっかけをいただいていると有難く存じ、気持ちを引き締め直す思いです。

お寄せいただきました評価は子どもたちからの声と合わせて、今後の教育活動に活かして参りたいと存じます。ご協力ありがとうございました。

お力添えといえば、学校運営協議会の委員長をしてくださっている方に講師をしていただき、5、6年生を対象にパイロットファームの歴史について“ふるさと学習”の授業を行っていただきました。授業に先立ち40枚のパネルからなる資料の展示をしていただき、授業は当時の資料映像や展示を見て子どもたちが考えた質問にわかりやすく答えていただく形で行われました。

これまでもふるさと教育では、教科や総合的な学習の時間に別海の町について調べ考えることや、中春別のお店にお世話になり見学や体験をさせていただく学習を行ってきておりますが、中春別の基幹産業である酪農のルーツに焦点を当てた授業はありませんでしたので、中春別の創成期の一頁を垣間見ることのできた“ふるさと学習”は貴重な機会となりました。本当に有難く存じます。

差し込む影の長い陽射しをはね返すレンガ舗装にはりついた堅雪。グラウンドを覆いつくす衾雪、子どもが寝そべって描いた天使の羽。いよいよ冬本番、どうぞお体にご留意いただければと存じます。

良いお年をお迎えください。